

上毛

こうげ町広報

May 2011
VOL.67

5

CONTENTS

- 町の掲示板 2
- 町の話題 11
- know「農」 14
- カルチャー 15
- 町の情報ひろば 16
- 素敵人 18
- 地域の子育てをサポート

特集

まちづくりの現場から 「少子化対策」



●編集・発行／上毛町役場企画情報課
〒399-10992
TEL 0979-(72)4664
FAX 0979-(72)4664

●印刷／築上印刷(有)
人の動き

3月31日現在

- 人口 8,120
(-25)
- 男性 3,850
(-21)
- 女性 4,270
(-4)
- 世帯数 3,087
(-3)

参考
平成17年10月11日
合併時
●人口 8,499
●世帯数 3,057

ごみの量

3月31日現在

- 可燃ごみ 119.49t
(+13.39t)
- カン・ペットボトル 2.46t
(+0.24t)
- びん 4.16t
(+0.73t)
- 古紙他 17.60t
(+3.17t)
- 可燃粗大 2.27t
(+0.91t)
- 不燃 6.48t
(+0.82t)
- プラスチック製容器包装 1.70t
(-0.03t)
- 紙パック、白色トレイ 0.06t
(-0.03t)

VEGETABLE
OIL BANK
環境対応型植物油インキ
を使用しております。

<http://www.town.koge.lg.jp>

こうげ
KOGO absolute peach
素敵人



社会福祉法人敬愛会
こうげクリニック 院長 辛島 広さん

お子さんをもつ保護者の方が安心して 働くことができるお手伝いを

上毛町住民の皆様こんにちは。社会福祉法人敬愛会こうげクリニックの院長を務めている辛島広です。今年の4月から上毛町国民健康保険直営診療所の運営が上毛町から社会福祉法人敬愛会に変わり、こうげクリニックとして新たに院長に赴任することになりました。未永く上毛町の地域医療に携わっていく者として、地に足をつけるという意味から上毛町の住民になることを決意しました。こうげクリニック裏にある旧官舎を住居として利用させていただく予定です。地域のかかりつけ医として、皆様と親しく交わりながら頑張る所存です。赴任早々、上毛町の病後児保育事業を受けるにあたり正直少し戸惑うところもありましたが、上毛町の将来を担うお子様の健康とそれを支える保護者の方のお手伝いが少しでもできればと思い、病後児保育室の移転改修工事を行いました。病後児保育室では、上毛町にお住まいの方を対象に病気の回復期にあるお子様の一時預かりを行います。

医師が病後児保育可能と認めた生後6ヶ月から小学校3年生までの子供たち、仕事の都合など家庭で育児を行うことが困難なお子様が利用できます。

病み上がりだからゆっくりさせてあげたいけど、仕事は休めないし、頼める人もいない等、そんな時、安心してお子様がより早く回復し、元気になるようお手伝いします。

また、私たちの病後児保育室は「こうげクリニック」の医療施設内にありますので、お預かりしているお子様に万が一急な病変があった場合でも、医師や看護師による迅速な医療対応が可能であり、安心してお預けいただける環境が整っています。住民の皆様のご利用を心よりお待ちしております。

地域の子育てをサポート

子どもたちは町の「宝」

安心して子どもたちを生み育てやすい環境づくりを支えるお二人を紹介します。



ポッポ保育園 園長 中村 法城さん

子どもたちの育ちを支えるだけでなく
保護者の子育て支援に取り組んでいます

現在、子どもや保護者を取り巻く環境は様々に変化しています。出生率の低下により子どもの数は減少し、地域における子ども同士の関わりも少なくなり、近所に友だちがいるといった環境ではなくなりました。また、核家族化によって「子どもを見守る大人の目」も減ってきており、安全面からも保護者が子どもから目を離せない状況になっています。気軽に相談できる人が近くにいないなど子どもが孤立化する中で保育園の支援の期待が高まっています。当園では、専門的な知識や経験豊富な保育士が子どもたちの育ちを支えるだけでなく保護者の子育て支援に取り組んでいます。保育園では県や町の補助金により朝7時から夜7時まで働く保護者のために延長保育を行っています。また、看護師も常勤し、子どもたちの病気の状態や薬も保育士と連携して対応し配慮しています。0歳児は3ヶ月からの赤ちゃんを預かり、オムツ、ミルクなど園で用意し、保護者の負担を軽減しています。夏休みには隣接するお寺の本堂で家庭保育のできない子どもを預かり、低学年対象に学童保育を行っています。

平成23年3月、県、町による保育所整備補助金をいただき、園の改築を行いました。施設も整い、多目的ホールにて保護者向けの食育の講演会や料理教室を開催することで食の大切さを伝え、また、子育ての中で出てくる不安などを保育士や他の保護者と話し合ったりすることで育児に対する悩みが少しでも和らぐことを願い、地域の子育て支援センターと連携しながら支援の輪を広げていきたいと考えています。

5月の表紙

表紙の写真は「大平保育所 おたんじょうび会」です

大平保育所で月に1度開かれるこの日は4月生まれの7名の園児が対象でした。

笑い顔と笑い声いっぱいのおたんじょうび会では、たんじょうびのうたをみんなで歌いました。

たんじょうびのうた♪

たんじょうびってなんのひ きみがうまれてきたこと かんしゃするひ うちゅうがうまれて ちきゅうがうまれて いのちがうまれて
おじいちゃん おばあちゃん おとうさん おかあさん いのちがつながって きみがうまれてきたんだね
ありがとう ふしぎなこと すてきなこと かんしゃするひ みんなにありがとう かんしゃするひ



編集後記

こんにちは。企画情報課の穴田大介です。

この4月の人事異動で広報を担当することになりました。

広報の取材を通じて、地域のもつすばらしさを勉強・体験し、引き続き上毛町の魅力を分かりやすくお伝えいたします。

皆さんに「親しみのもてる広報」と感じていただけるよう頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。